

# 企画提案試験 講義編

## 第1節 企画提案試験の概要

…企画力、建設的な思考力及び説明力などを判定するための試験（配点：5/28）

毎年、教養区分第1次試験合格発表日に人事院ホームページにて、参考文献や資料等が提示されるので、事前にそれらを読み、内容を十分理解した上で試験に臨む必要がある。

（参考）・2012年：「ものづくり白書」（全文）

・2013年：「H25年版男女共同参画白書」（全文）

・2014年：「平成26年度版 子ども・若者白書」（全文）

・2015年：「平成27年度版 高齢社会白書」（全文）

・2016年：①「平成28年度版 観光白書」（全文）

②「Global Code of Ethics for Tourism」World Tourism Organization (UNWTO)

・2017年：①「平成28年版 厚生労働白書」（第1部）

②「平成28年版 労働経済の分析」（全文）

③「Replacement Migration」(国連事務局経済社会局人口部 DESA)

・2018年：「平成29年度 経済財政白書」（第1章）

### ★ I部：小論文

…課題と資料を与え、解決策を提案させる（解答時間は2時間）。答案用紙は1枚（両面）

### ★ II部：プレゼンテーション及び質疑応答

… I部で書いた小論文の内容について試験官(2名)に説明、その後質疑応答を受ける。

（発表時間5分間、質疑応答：概ね20分間）

課題紙及び参考資料は、I部終了時に回収するが、II部の発表に当たり、準備時間（10分間）を考慮して、小論文のコピーとともに手渡される。なお、II部終了時に、これらは回収される。

（当日のイメージ）

①午前中、小論文作成（2時間）

②昼食休憩

③別室で資料が返され、10分間の準備時間（みんなメモしたりしていた）

④面接官2人相手に、プレゼン&質疑応答開始

プレゼン（5分）→質疑応答（20分）

説明は5分以内厳守であるものの、大きいタイマーが置いてあるため、事前に何度か練習をしていれば焦ることもない。

### ★ 評価について（H28の場合）

素点（12点満点）	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3
標準点	181	166	151	136	120	105	90	75	59	—

基準点（4点）未満は「足切り」となる。また、平均点は6点前後

## 第2節 出題傾向と対策

【H24年度】

**設問** 次で求められている小論文を作成しなさい。ただし、資料は小論文作成に当たっての参考程度とし、資料に書かれている施策にとらわれず自分の考えに基づいて施策を提案しなさい。

### あなたが置かれている状況

あなたは、ある組織の行政官として上司から次の課題が与えられており、あなたの提案は組織内で検討したのち、実現に向けて政府及び関係府省との調整等を経て、最終的には、国民に対して公表されることとなっている。

### 上司からの課題

我が国の経済状況は、先行きについては、復興需要等を背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、海外景気の下振れ等によって我が国の景気が下押しされるリスクがあるといわれており、また、労働経済面をみると、雇用情勢は、持ち直しているものの、東日本大震災の影響もあり依然として厳しいといわれている（平成24年6月時点）。

そこで我が国の産業を活性化し雇用状況を改善するため、現状の問題点とそれに対する解決策等を整理した上で、重要と考える具体的な施策について、有効性の観点等から比較検討しつつ、優先順位を付けて二つ提案し、組織内の関係者に説明できるような文書（小論文）を作成しなさい。

資料：『平成23年度ものづくり基盤技術の振興政策（骨子）』（全9ページ）

第1章：内外経済が変化する中での我が国ものづくり産業の動向

- (1) 生産水準
- (2) 貿易の状況
- (3) 設備投資
- (4) 雇用

第2章：我が国ものづくり産業が直面する課題と展望

- (1) 国際的な構造変化に直面する我が国ものづくり産業
- (2) 『誰のためのものづくりか』という視点と国際分業体制構築の必要性の高まり
- (3) 国際分業体制における、我が国ものづくり産業の役割
- (4) 我が国ものづくり産業の競争力強化に向けた人材育成

第3章：ものづくり中核人材の育成を中心とした製造基盤の強化

- (1) ものづくり現場における中核人材の育成・確保
- (2) ものづくり中核人材の育成を巡る課題と今後の対応
- (3) ものづくり産業における中核人材の育成などを支援・促進する施策

第4章：ものづくりの基盤を支える教育・研究開発

- (1) ものづくり人材育成における大学（工学系）、高等専門学校、専門高校、専修学校の取組
- (2) ものづくり人材を育む教育・文化の基盤の充実
- (3) ものづくりに関する基盤技術の研究開発
- (4) 産学官連携を活用した研究開発の推進